

アーム式・パルス発振

家庭用超短波治療器

DOCTOR MICRO

ドクター マイクロ

SW-500

管理医療機器

医療機器認証番号：221ACBZX00049000



添付文書 取扱説明書

目次

ドクターマイクロの特長	P2
安全上のご注意	P3
使用上のご注意	P5
はじめてお使いになる前に	
・ 本体標準付属品と仕様	P10
・ 各部名称	P11
操作方法について	
・ 治療の操作手順	P12
・ 基本的な治療例	P14
・ 照射アンテナと自在アームの動きについて	P16
シールドカーテンの使い方	P18
困ったときは	P19
保証とアフターサービス	P20

この度は、「ドクターマイクロ」をご購入いただきありがとうございました。

- ご使用前に、本取扱説明書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。
- また、いつでもお読みいただけるよう、本体と取扱説明書、保証書を一緒に大切に保管してください。

ドクターマイクロの特長

1 極超短波のエネルギーを 50W（ピーク値）でパルス発振により出力することで、体内深部を効果的に温めます。

2 自在アーム+照射アンテナで簡単・手軽に目的の部位を着衣の上から治療することが可能です。

※ 導電性の衣類を着用しての使用はできません。

3 効能効果は **超短波による局所の温熱効果**

- 疲労回復
- 血行を良くする
- 筋肉のコリをほぐす
- 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
- 胃腸の働きを活発にする
- 筋肉の疲れをとる

4 操作はいたってカンタン、電源を入れ、タイマー設定スイッチと出力設定スイッチを押すだけで治療スタート。

5 小型で、簡単に移動ができ、好きな場所でくつろぎながら使用できます。

安全上のご注意 ~正しく安全にお使いいただくために~

- ◆取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。治療器を人に貸したり、差し上げる時には必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよく読み、正しくお使いください。
- ◆あなたや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表わしていますので、内容を理解してから本文をお読みください。



危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示します。



は、「危険・警告・注意」を促す内容です。

※ 表示例は「感電注意」です。→



は、してはいけない「禁止」の内容です。

※ 表示例は「分解禁止」です。→



は、行為を指示する「強制」の内容です。

※ 表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。→



表示例

安全上のご注意 ~正しく安全にお使いいただくために~

次のような場合は使用しないでください

⚠ 危険

下記のような医用電気機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがあります。使用しないでください。

- 1) ペースメーカー等の体内植込型医用電気機器
- 2) 人工心肺等の生命維持用医用電気機器
- 3) 心電計等の装着型医用電気機器

⚠ 警告

次のような場合は、使用しないでください。

- 1) 病名などがはっきりしない場合、医師に相談してください。
- 2) 他の機器とは同時に使用しないでください。過度な刺激を受けたり、体調を損なったり、故障の原因となることがあります。使用する場合は時間をずらして使用してください。
- 3) 電位治療器のマットの上では、絶対に使用しないでください。
- 4) 補聴器は外してください。

⚠ 警告

家庭用治療器は医師の指導のもとに使用してください。

また、次の人は必ず医師と相談してご使用ください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1) 急性（疼痛性）疾患の人 | 9) 知覚障害のある人 |
| 2) 悪性腫瘍のある人 | （糖尿病患者などを含む、温熱に対して感覚の鈍い人） |
| 3) 妊産婦 | 10) 低温やけどをしたことのある人 |
| 4) 心臓に障害のある人 | 11) かなり高齢な人及び老人性認知症、6歳以下の乳幼児など意思表示ができない人 |
| 5) 熱の高い人（38℃以上） | 12) 結核患者・血友病患者 |
| 6) 血栓症の人 | 13) その他医師の治療を受けている人や体に異常を感じている人 |
| 7) 血管障害の恐れのある血圧異常の人 | |
| 8) 安静を必要とする人 | |

次のような部位への使用は避けてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ○出血部位および月経時の腹部 | ○皮膚知覚が低下している部位 |
| ○体内に金属・プラスチックなどを埋め込んである部位 | ○成長期の骨端 |
| ○頭部・目・男性生殖器 | ○阻血組織など著しく血行の悪い部位 |
| ○感染症や創傷など、皮膚に異常のある部位 | ○中程度以上の浮腫のある部位 |

次の人は使用しないでください。

- お酒を飲んだ人 ○睡眠薬を飲んだ人

次の人は介護者のもとで使用してください。

- マヒのある人 ○寝たきりの人 ○12才以下の子供

使用上のご注意

身体に合った治療をしてください



警告

体調の悪化やけがなど事故の原因となります

❌ 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないこと。

❗ 身体に異常を感じたり、現われた時は、直ちに使用を中止し、医師に相談すること。

症状が悪くなる場合があります。



❗ 治療効果や治療部位、症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。不明な点をご購入先または「お客様相談窓口」(裏表紙)へお問い合わせください。

❗ 数ヶ月以上、本器を使用しても症状の改善や効果が現われない場合は、使用を一時中止し、医師または専門家に相談すること。



❗ 治療開始当初は治療時間を10分、出力は「弱」にして、徐々に身体を慣らしていくこと。

❌ 定められた治療時間を超えないこと。また、連続して20分使用した場合、5分間以上休むこと。過照射により火傷の原因となる恐れがあります。

❌ ひじ等の骨が非常に突起した部位に使用する場合は局部的な熱上昇を起こさないように注意すること。

❗ 照射アンテナの照射面を治療部位にあてる時は、体にできるだけ近づけてください。体から離すとエネルギーが周囲にもれ治療効果が少なくなります。また、他の電気製品に影響を及ぼす原因となります。



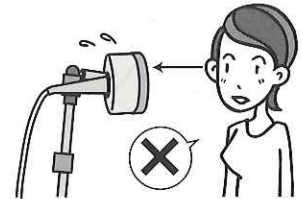
❗ 皮膚が汗などで濡れている場合は、汗を拭き取ってから治療すること。治療中に汗をかいた場合は、汗を拭き取る。また、湿布や塗膏薬を塗った部位には照射しないこと。

皮膚が濡れたままで治療をすると火傷の原因となります。

❌ 濡れた包帯や金属物を含むバンソウコウなどの上から強い出力で照射しないこと。温度が異常に上昇することがあります。

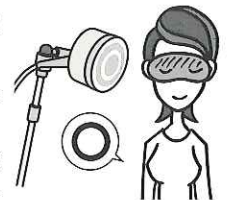
火傷の原因となります。

❌ 目などの顔面へは照射しないこと。また、照射アンテナは見つめないこと。



❗ 首、胸など身体の上部に照射する場合は、必ず付属の防護メガネをかけること。

※ 防護メガネは天然ゴムを使用しています。天然ゴムはかゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し医師に相談してください。




❌ 温度が強すぎると感じた場合は、がまんせずに出力を下げる。火傷の原因となります。

火傷の原因となります。


使用上のご注意

使用場所や状況について


火傷や発火などの事故や故障の原因となります

-  電位治療器の電床マットの上またはマットタイプの温熱治療器の上では電床のコードが本体に差し込まれていなくても、絶対に使用しないこと。

電床マットが焦げて火傷、火災等の恐れがあります。


-  導電性衣料（サンダーロン® 繊維使用、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電防止用繊維など）を着用して治療しないこと。また、磁気入り布団や墨入り布団および墨入りの畳の上では治療しないこと。

火傷や発火の原因となります。

-  使い捨てカイロや金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリングなど）は、体から外すこと。




火傷などの事故の原因となります。

-  湿布剤をつけている場合は剥がすこと。


火傷や発火の原因となります。

使用場所や状況について


感電、火傷などの事故や物的損害、故障の原因となります


-  風呂場、台所、車の中、ストーブなど火気の近く、直射日光の当たる場所など、温度や湿度の高い場所やほこりの多い場所では使用しないこと。

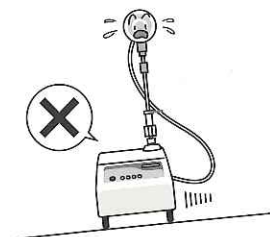
機器の寿命を縮めたり、熱さによる本体変形などで事故の原因となります。


-  本体を寒い場所から温かい場所に、いきなり移動して使用しないこと。

本体内部で結露現象が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用する時は2時間以上経過してから電源を入れてください。


-  寒い時期や寒い場所で使用する際は、電源を入れて1～2分経ってから使用してください。

-  本体は水平な場所へ置くこと。傾斜面など不安定な場所での移動は転倒等に注意すること。




-  他の電気製品（電気毛布や敷布、電気カーペット、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないこと。また、電源が入ってなくても電気毛布や敷布、電気カーペットの上では使用しないこと。

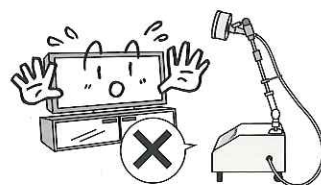
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動を起こしたり、カーペットが焦げるなど事故の原因となります。

-  キャッシュカードやクレジットカード、携帯電話、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気を帯びたものを近づけたり、身につけた状態で本器を使用しないこと。

記録内容が消去される場合があります。

-  他の電気製品とはできるだけ距離をあけて使用すること。携帯電話、電子手帳等を身につけたまま使用しないこと。また、使用中の照射アンテナを直接本体や他の電気製品（テレビやラジオ、電話、ステレオなど）に向けないこと。

電気製品が誤作動や故障したり、記録内容が消去される場合があります。



- ❌ 照射アンテナをブレーカーに向けて使用しないこと。また、ブレーカーの近くで使用しないこと。
それでもブレーカーが落ちるようでしたらご購入先までご連絡ください。

- ❌ 照射アンテナを火災報知器に向けて使用しないこと。

火災報知器が誤作動を起こしたり、故障する恐れがあります。



- ⚠️ 雷や地震、停電時は使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜くこと。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。

- ⚠️ アースコードを正しく接続すること。

- ❌ 本体背面の通気孔を塞ぐような使い方（布団をかぶせたり、壁に寄せるなど）はしないこと。壁から 10 cm 以上あけてください。

本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

- ❌ 使用中は他の人や金属類に触れないこと。ピリッとしたり、火傷の原因となります。

- ⚠️ 他の電気機器の近くでは使用しないでください。機器の例：ペースメーカー、補聴器、その他医療用電気機器、携帯電話、火災報知器
電気機器に影響を与える場合があります。

- ❌ 電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤作動や故障の原因となります。

電源及び電源コードについて



警告

感電、火傷などの事故や物的損害、故障の原因となります

- ❌ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないこと。

感電の原因となります。



- ❌ コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないこと。

タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。また過電流でブレーカーが落ちる事があります。

- ⚠️ 電源プラグは容易に外れないよう、コンセントに確実に差し込むこと。また、プラグの破損や差し込みがゆるい場合は使用しないこと。

差し込みが不完全だと感電、ショート、発火の原因となります。

- ❌ 交流 100V 以外では、使用しないこと。

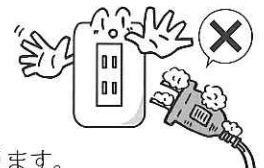
規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。

- ❌ コード類の抜き差しや、本体への接続は必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。

- ❌ 電源プラグにゴミ、ほこりなどを付着させて使用しないこと。

発火、ショートの原因となります。



- ❌ 電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないこと。

機器の寿命を縮め、火災、感電などの原因となります。

- ❌ 電源コードは着脱式なのでなくさないこと。また、他の電気機器の電源コードを使用しないこと。

使用上のご注意

本体の扱いについて



危険

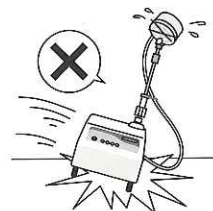
勝手に修理したり、改造したりしないこと。
故障かなと思ったら使用を中止し、ご購入先またはお客様相談窓口へお問い合わせください。

本体は絶対に開けないこと。
内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

発火、感電などの事故や故障の原因となります

本体を高い場所から落としたり、強い衝撃を与えないこと。

誤って落とした場合は必ず点検を受けてください。その時に異常がなくても内部の損傷が進み、後に事故や故障の原因となることがあります。



本体の扱いについて

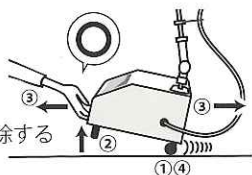


警告

発火、感電などの事故や物的損害、故障の原因となります

本体の移動は手掛けを持ち上げ、後輪のキャスターを引いて移動し、自在アームや照射アンテナ、ケーブルを持って移動しないこと。
また、重量が約 15 kg あるため、持ち運びには十分注意すること。

- ①後輪のキャスターのロックを解除する
- ②手掛けを持ち上げる
- ③後輪のキャスターを引いて移動する
- ④後輪のキャスターをロックする



使用を中断する場合や使用後は必ず電源を切り、使用前の状態に戻すこと。

治療前やしばらく使用しなかった場合には、使用前に本器が正しく作動するか確認すること。また、日々の使用点検にて、スイッチ、アームなどが正しく作動するか確認すること。

定められた手順で操作すること。また、子供には操作させないこと。
操作を誤ると事故や故障の原因となります。

他の電気機器、治療器の部品や付属品などを使用しないこと。
規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの劣化断線などにより、火傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

本体（照射アンテナやケーブルも含む）に故障や異常を感じた場合（異常音がする、熱い、煙を発生する、照射アンテナが点灯しないなど）は、直ちに使用を中止し、電源を切ること。
電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体の上に重い物や飲み物などを置かないこと。
内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。



子供が誤って操作をしないよう、十分注意すること。
誤った操作を防止する機能については、13 ページをご覧ください。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。また、濡れた手でプラグの抜き差しや本体の操作をしないこと。
感電など事故の原因となります。

変色の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないこと。
水またはぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。

! 次回の使用に支障がないように清浄にし、整理保管すること。また、次のような場所に保管しないこと。

- ◆温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより品質に悪影響を及ぼす恐れのない場所に保管してください。機器の寿命を縮め、火災や感電の原因となります。

! 本体や付属品は定期的に点検を行い、本器の性能維持や劣化、磨耗などの点検を行うこと。また、消耗部品は定期的に交換し、使用中の危険防止を図ること。

事前のチェックや点検等で不具合（付属品の絶縁、コード被覆のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、コネクタの接続不良等）などが見られた場合は必ずご購入先またはお客様相談窓口へご連絡ください。

照射アンテナについて 警告

発火、感電などの事故や故障の原因となります

! 照射アンテナの取扱いや使用には、次の点に注意し、正しく使用すること。火災や感電、発火、断線などの事故や故障の原因となります。

- ◆照射アンテナのケーブルを傷つけたり、無理に引っ張ったり、アームへ結んだり、押し付けたたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないこと。また、アンテナをアームから外さないこと。

- ◆照射アンテナやケーブルが傷ついていたたり、破損している場合は使用しないこと。その場合は、ご購入先またはお客様相談窓口へご連絡ください。

- ◆照射アンテナやケーブルには金属類を近づけないこと。また、他の電気製品のコードと交わらないようにすること。他の電気製品に異常を起こす恐れなどがあります。



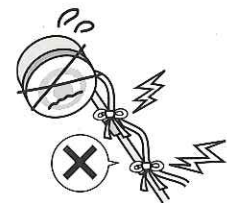
アンテナをアームから外さないこと



ケーブルを引っ張ったり、ねじらないこと



ケーブルをアームに巻き付けかないこと



ケーブルをアームに結ばないこと

定期点検を受けましょう

本体や付属品を正しく安全に使用するために定期的（1年をめやす）に点検を受けましょう。
※ 使用状態により異なりますので、ご購入先へお問い合わせください。

日頃のお手入れとして

通気孔につくホコリを定期的に掃除機などで吸い取ってください。

その他



機器及び付属品を廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

はじめてお使いになる前に

本体標準付属品と仕様

本器を初めて使うにあたって、以下の付属品が揃っているかご確認ください。

本 体



主な仕様

電 源：AC100V
周 波 数：50/60Hz
消 費 電 力：95W
発振周波数：2450MHz
定 格 出 力：25W
タ イ マ ー：10分・20分
本 体 寸 法：280(幅)×240(高)×360(奥行)mm
重 量：約 15 kg

標準付属品

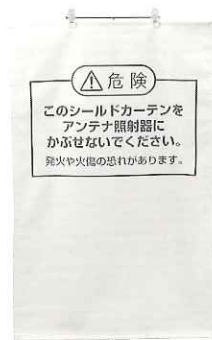
防護メガネ 1個



⚠ 警告

超短波の照射から目を保護するため、身体上部を治療する時は必ずおかけください。

シールドカーテン



カーテンスタンド

⚠ 警告

照射アンテナと電気製品との間に必ずシールドカーテンを置いて使用してください。

電源コード 1個



本体背面の電源インレットに接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

アースコード 1個



本体背面のアース端子に接続し、確実にアースしてください。

各部名称

照射アンテナ

治療部位に向け治療します。
照射面は体にできるだけ近づけてお使いください。

警告

- ・傾斜面には設置しない。移動時は転倒に注意すること。
- ・照射アンテナや自在アーム、電源コードを持って移動しないこと。
- ・アンテナケーブルや電源コードをアームに巻き付けたりしないこと。

自在アーム

操作パネル

手掛け

移動する時は、手掛けを持ち上げ、後輪のキャスターを引いて移動します。

アンテナケーブル

自在な動きができるように長さに余裕を持たせています。

背面

通気孔

通気孔を塞がないでください。壁に寄せたり、布団をかぶせたりしないでください。また、通気孔につくホコリは定期的に掃除機などで吸い取ってください。

キャスター

アース端子

電源インレット

操作方法について

治療の操作手順

設定された治療時間を表示します

タイマー表示

出力表示

設定された出力を表示します

電源スイッチ

電源を「入」「切」します



タイマー設定スイッチ

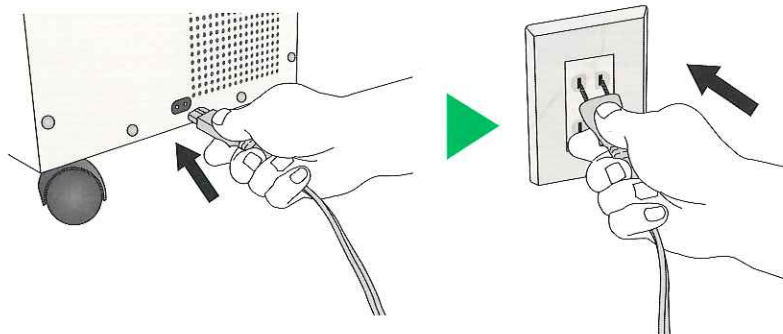
治療時間を「10分」もしくは「20分」に設定します

出力設定スイッチ

出力の強さを「弱」もしくは「強」に設定します

1

電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、本体の電源インレットへ電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。



2

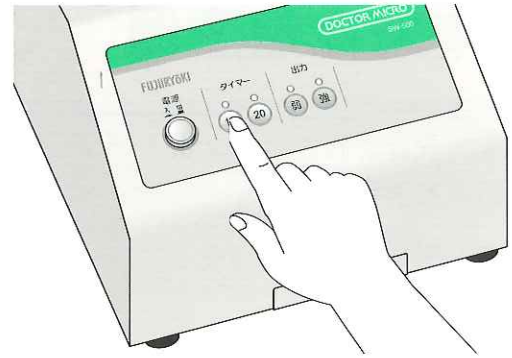
電源スイッチを押して「入」にします。ピーツと音がして、タイマー表示と出力表示が点滅します。



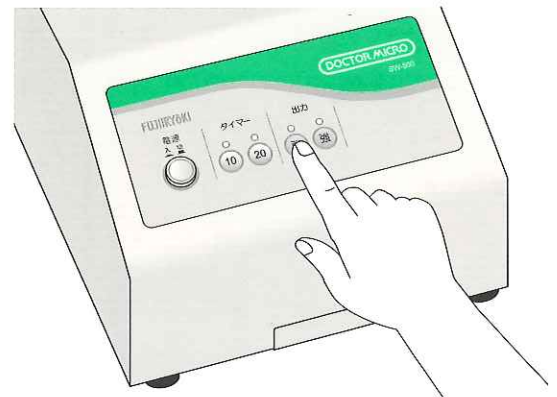
3

照射アンテナを治療部位にあてます。(治療例は14ページを参照してください)

4 タイマー設定スイッチで治療時間 ⑩ 分もしくは ⑳ 分を選択します。タイマー表示が点滅から点灯に変わります。



5 出力設定スイッチで、出力を ④ もしくは ⑤ を選択します。出力表示が点滅から点灯に変わります。タイマー、出力ともに設定すると、照射アンテナが点滅し治療が開始されます。



※ 周囲の温度や保管状況などによって、一時的に照射アンテナが点滅しない場合がありますが、故障ではありません。

※ 機器の特性上、使用中に照射面がちらついて見える場合がありますが、故障ではありません。

※ 途中で治療を終了する場合には電源スイッチを「切」にして終了してください。

6 治療時間が残り 1 分になると、設定されているタイマー表示が点滅します。治療が終了するとピーッ、ピーッ、ピーッと音がして自動的に出力が終了します。治療が終了したら、電源スイッチを「切」にして、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

誤った操作を防止するには

お子様のいたずらなどによる誤操作を防ぐために、スイッチをロックして誤った操作を防止することができます。

タイマーと出力が設定されていない状態で ④ スイッチを 3 秒間押し続けると、出力表示の「強」が点滅し、電源スイッチ以外の操作が行えなくなります。解除したい場合は同様に、④ スイッチを 3 秒間押し続けます。

※ 設定は、電源スイッチを「切」にしても、記憶されます。

※ 出荷状態では、誤操作防止機能は「切」が設定されています。



※ 使用中、出力設定スイッチやタイマー設定スイッチを押しても動作しない場合は、電源を入れ直してください。電源を入れ直しても動作しない場合はご購入先までお問い合わせください。

※ 使用中は、本体内の熱を下げるためのファンが作動しています。このファンは治療が終了しても作動しつづけます。電源スイッチを「切」にするとファンは止まります。電源スイッチが「入」の状態が続くと、本体が温かくなりますが、故障ではありません。治療が終了したら、電源スイッチを「切」にして、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

操作方法について

基本的な治療例

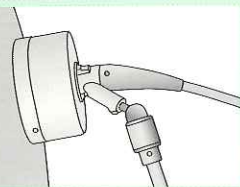
※ 図では当て位置をわかりやすくするために肌に直接当てていますが、実際の使用の際には衣服またはタオルを間に挟み使用してください。

治療の基本

- ◆ 出力は弱が原則。
- ◆ 時間は10分・20分、1日1～3回。
- ◆ 照射面を体（治療部位）にできるだけ近づけて照射してください。

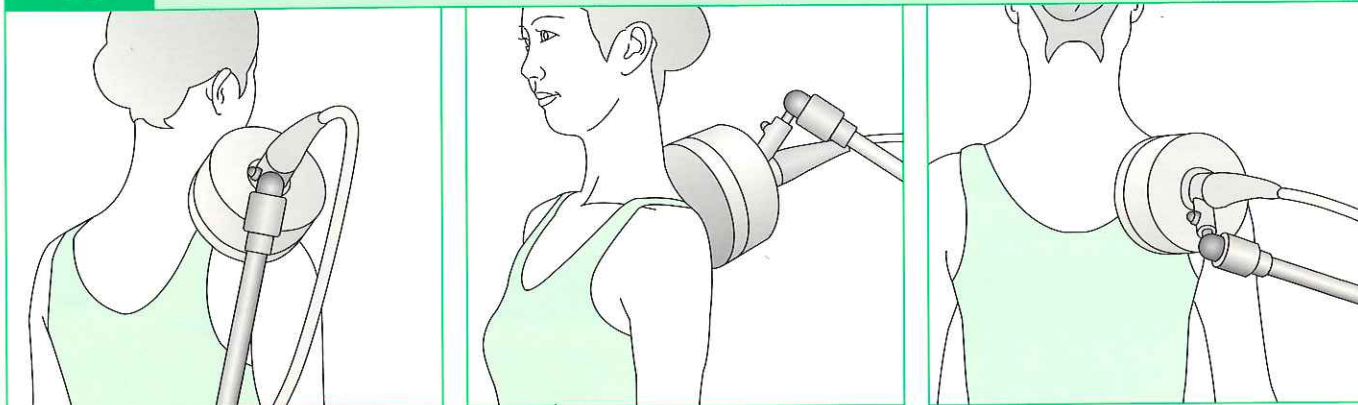
効率のよい使い方

体



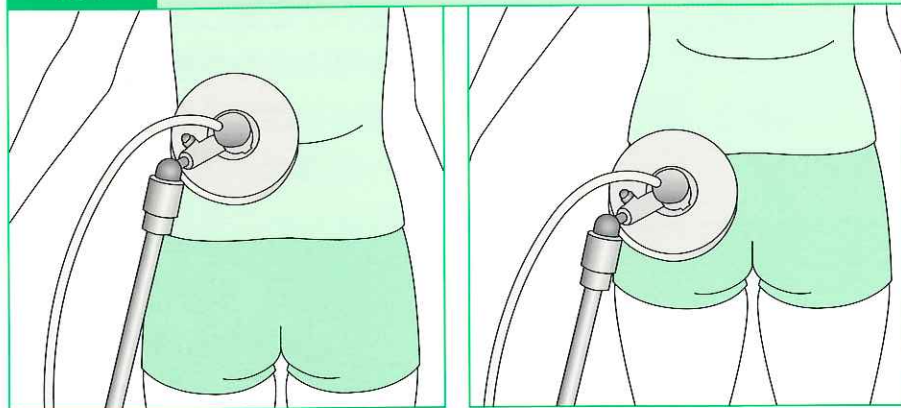
肩

出力：弱 時間：10分・20分 回数：1日1～3回



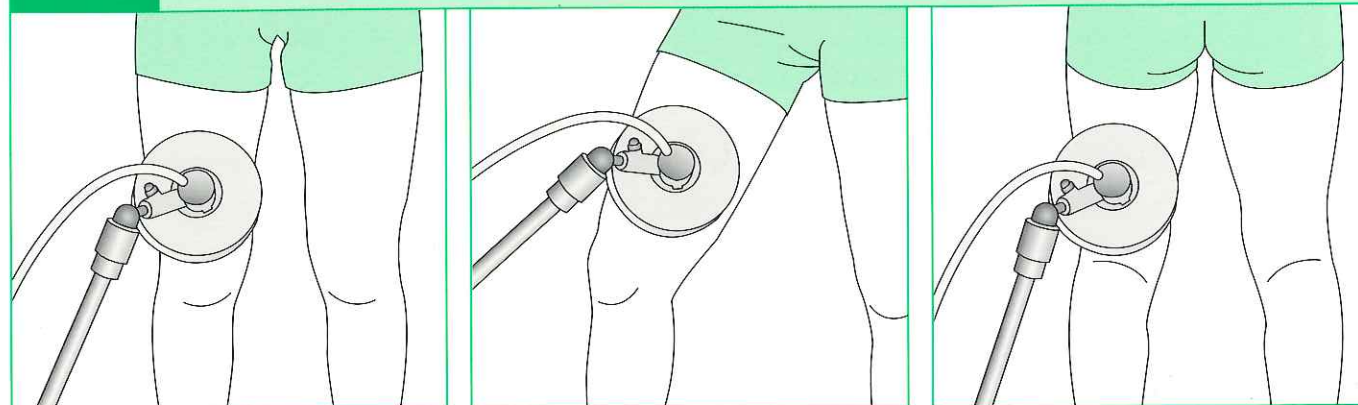
腰

出力：弱 時間：10分・20分 回数：1日1～3回



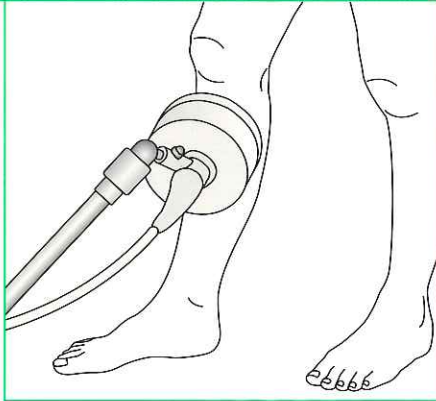
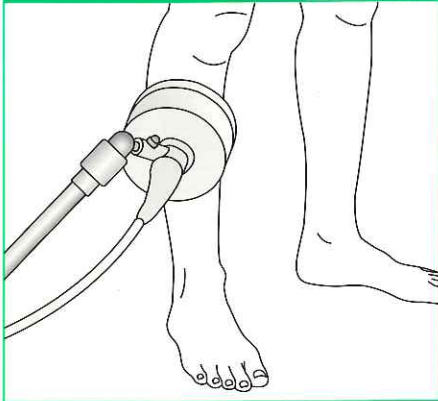
ひざ

出力：弱 時間：10分・20分 回数：1日1～3回

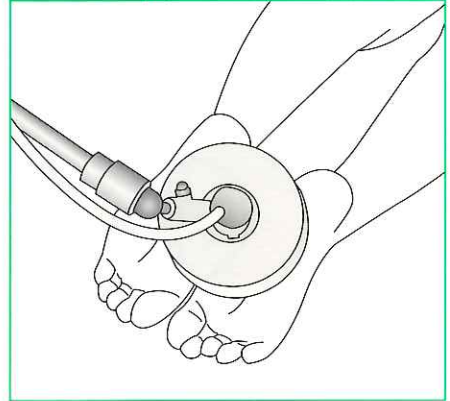


ひざから下

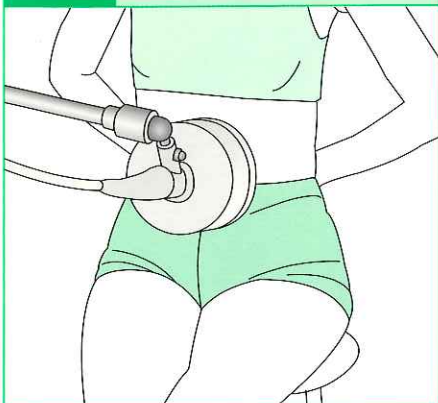
出力：弱
時間：10分・20分
回数：1日1～3回

**足裏**

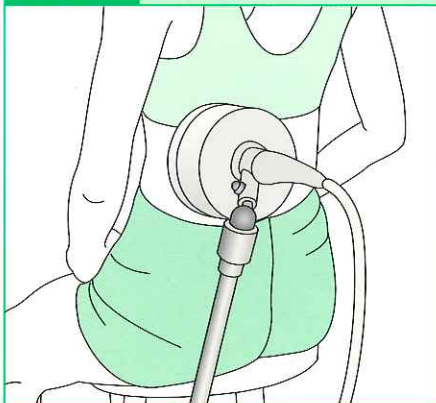
出力：弱
時間：10分・20分
回数：1日1～3回

**腹**

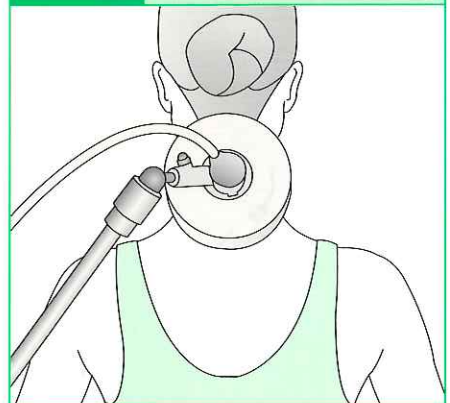
出力：弱
時間：10分・20分
回数：1日1～3回

**副腎**

出力：弱
時間：10分・20分
回数：1日1～3回

**脊髄**

出力：弱
時間：10分・20分
回数：1日1～3回



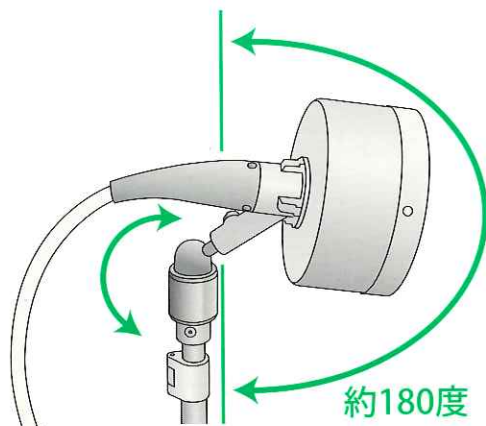
⚠ 警告 治療時の注意事項

- ◆ 顔面への照射はしないでください。また、照射アンテナを見つめないでください。
- ◆ 首、胸など身体の上部に照射する場合は、防護メガネをかけてください。
- ◆ 連続して20分使用した場合は5分以上休止してください。
- ◆ 導電性衣類を着用して治療しないでください。
- ◆ 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は体から外してください。
- ◆ 電位治療器の電床マットの上では使用しないでください。
- ◆ 温感が強すぎると感じたら出力を弱にしてください。
- ◆ 本器や体に異常を感じたら直ちに使用を中止してください。

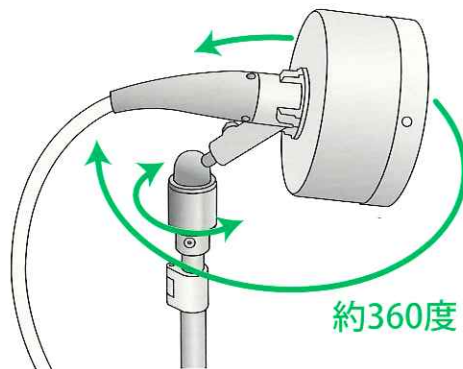
操作方法について

照射アンテナと自在アームの動きについて

照射アンテナの可動範囲



約 180 度の範囲で上下します。



約 360 度、アンテナの向きが変更られます。

自在アームの可動範囲

(上から見た図)



水平方向に約 270 度の範囲で回転します。

(横から見た図)



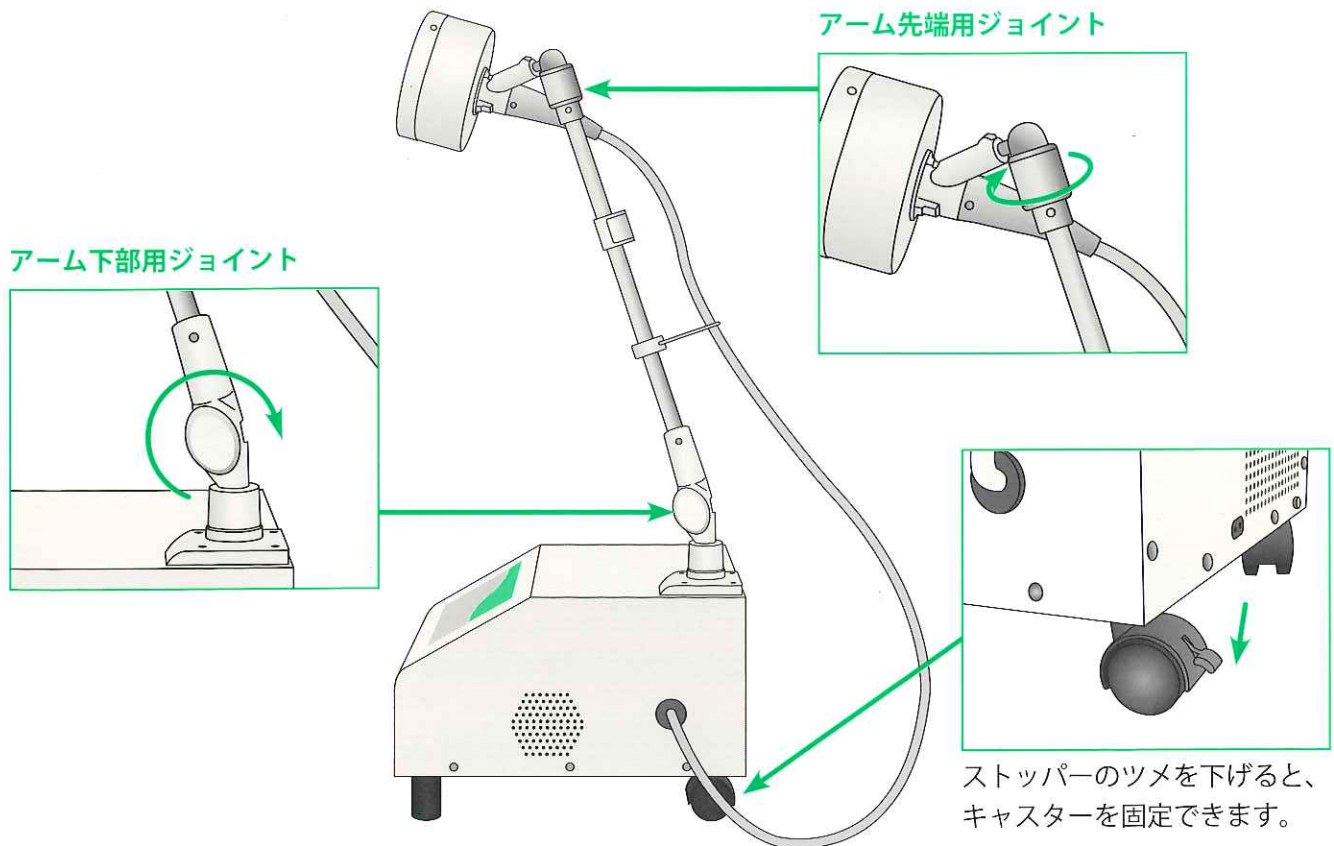
約 100 度の範囲で上下します。



- ◆ 照射アンテナをアームから外さないでください。
- ◆ 範囲を超えて無理に動かさないでください。
- ◆ アームは人間の関節と同じように逆方向には曲がりません。逆方向に無理に力を加えると、アームが壊れます。
- ◆ アンテナケーブルを持ってアームや本体を動かさないでください。
- ◆ アンテナケーブルをからませたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。アンテナケーブルが傷ついたり、破損した状態で使用すると火災や感電、発火、断線などの事故や故障の原因となります。

照射アンテナ・自在アーム・キャスターの固定方法

照射アンテナや自在アームが固定できない（傾いてしまう）場合は、2点のジョイントを矢印の方向に回して締めることで、固定できます。



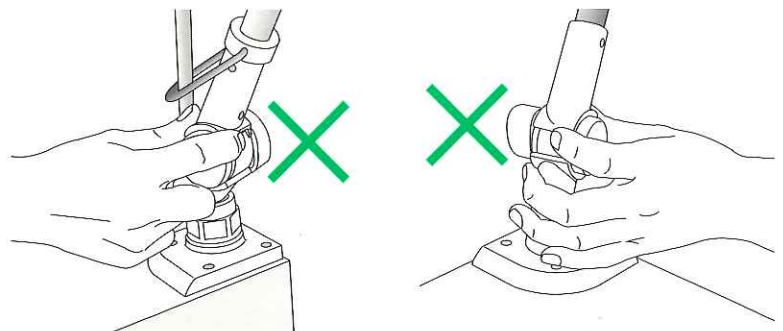
自在アームの伸縮方法



ストッパーを持ち上げて、自在アームの伸縮を行います。

⚠️注意 自在アームの取扱いについて

自在アームの関節部分を持ったまま、動かしたり操作しないでください。関節の駆動部分に指を挟むなどの事故の原因となります。

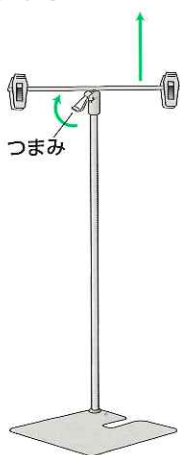


シールドカーテンの使い方

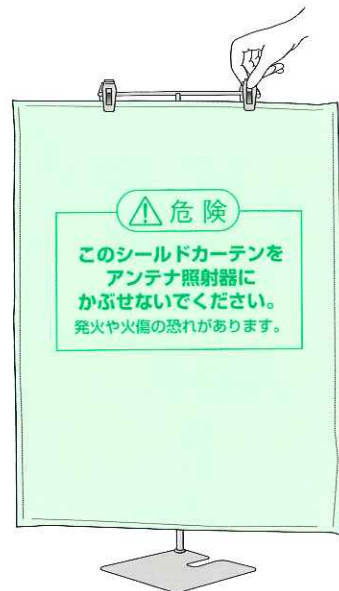
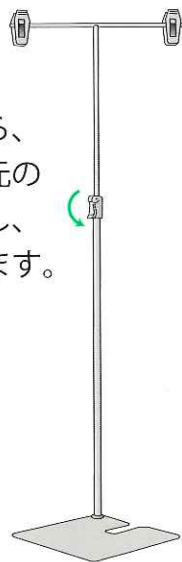
シールドカーテンの組み立て方法

1 両端のクリップでシールドカーテンを固定します。

つまみを上げ、上まで引き上げます。



伸ばしたら、つまみを元の位置に戻し、ロックします。

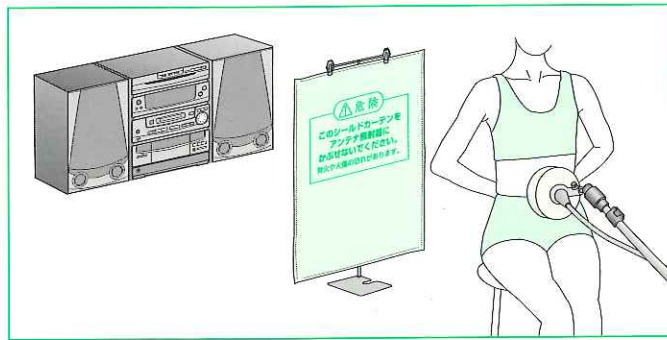
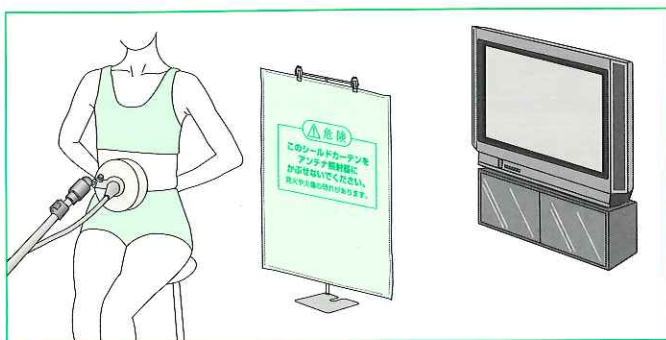


シールドカーテンの使用例

ドクターマイクロを使用する際には必ずシールドカーテンを使用してください。

使用例

ドクターマイクロをご使用される際には必ずテレビやステレオといった電気製品との間にシールドカーテンを使用してください。
シールドカーテンは必ず印刷面を照射アンテナに向けるようにしてください。



警告

シールドカーテンの注意事項

- ◆ 使用中の照射アンテナに接触させないでください。
- ◆ 暖房機器等の近くに設置や保管をしないでください。
- ◆ 温度や湿度の高い場所での使用や保管はしないでください。
- ◆ 水等をかけたりしないでください。
- ◆ 折りたたまずに軽く巻いて保管してください。

困ったときは

故障かなと思ったら

照射アンテナや自在アームが、固定できない（傾いてしまう）。



アーム先端用ジョイントと、アーム下部用ジョイントを締めることで固定できます。詳しくは 17 ページをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない。



以下の 2 点をご確認ください。

- 電源コードがコンセントから外れていませんか。
- 電源コードが、本体背面の電源インレットから外れていませんか。

出力表示の「強」が点滅し、電源スイッチ以外の操作が行えない。



お子様のいたずらなどによる誤操作を防ぐ、「誤操作防止機能」が「入」に設定されています。タイマーと出力が設定されていない状態で **強** スイッチを 3 秒間押し続けると解除できます。詳しくは 13 ページをご覧ください。

照射アンテナの照射面がちらついて見える



機器の特性上、ちらついて見える場合がありますが、故障ではありません。

タイマーと出力を設定しても、照射アンテナが点滅しない。



周囲の温度や保管状況などによって、一時的に照射アンテナが点滅しない場合がありますが、故障ではありません。

愛情点検



愛情点検

長年ご使用の場合は点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- こげくさいにおいがする。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用中

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを「切」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。



注意



しばらく使用しなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、機器が正常に動作することを確認してから使用する。事故やけがのおそれがあります。

DOCTOR MICRO

保証とアフターサービス

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

●保証書（別に添付してあります）

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 お買い上げ日から1年間

●補修用性能部品の保有期間

当社はこの治療器の補修用性能部品を、製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

19ページに従ってしらべていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

●保証期間中に修理を依頼される場合

ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

●その他ご不明な場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

●保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご希望に従い有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

フリーダイヤル

0120-027612

受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分

※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX・E-mailでの受付も行っております。

FAX番号 06-6644-9103

E-mail fj_soudansitu@fujiiryo.co.jp

FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

地球の環境保護の為、破棄するときにはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

販売元



美と健康の総合メーカー
株式会社 **フジ医療器**

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

製造販売元：伊藤超短波株式会社

〒176-0014 東京都練馬区豊玉南3-3-3 ☎ 03 (3994) 1683

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名	TEL		